

令和7年度第2回千歳市学校給食センター運営審議会 開催結果概要

<日 時>

令和8年2月26日(木) 13時30分～14時10分

<場 所>

第2庁舎会議室5・6

<参加者>

(委員:10名中7名出席)

徳田委員、山下委員、長太委員、小西委員、今野委員、秦委員、吉村委員

(事務局)

高橋教育部長、大西教育部次長、高岸センター長、安積業務係長、伊藤主査、杉村主任、
延与栄養教諭、山根栄養教諭

【開催結果】

1 開会

2 新委員及び事務局紹介

欠員が生じた委員の後任として、小西委員の委嘱を行った。(委嘱状は机上にて交付)

3 委員長挨拶

4 議事

○議案第1号「令和8年度学校給食事業計画(案)」について資料に基づき報告。報告済みとなった。

[質疑・感想等]

(審議会委員)

・食に関する指導について、指導要領等に基づいた指導を行っているのか。もしくは各栄養教諭ごとで工夫をして指導を行っているのか。

(事務局)

・基本的には、学習指導要領に沿った形式で対象学年ごとに指導案を作成して実施している。しかしながら、栄養教諭配置校(千歳小、末広小、信濃小、祝梅小)については、全学年を対象として実施しており、各栄養教諭の色を活かした内容の指導を実施している。

(審議会委員)

・残食について、データはとっていないのか。

(事務局)

・毎日小中各1校ずつではあるが、回収されてきた残量率を計測している。牛乳等の残量も含んでいるため正確な残食率とは言えないが、大まかに残食が出やすい献立や傾向等を把握しており、献立見直しや工夫に活用している。

(審議会委員)

・4月から小学校給食無償化とあるが、国から賄われる費用を財源に不足する分は市で補ってんして対応するようであるが、食材費の物価高騰は今後も続くことが想定される中、来年以降も同様の額で対応するということか。

(事務局)

・小学校給食無償化について国から示されたところであるが、一律一人当たり月5,200円となっている。金額の根拠については、全国を対象とした給食費調査をもとに国が算出した平均値としており、当市にかかる食材費に対しては足りていない状況である。現状では一律一人当たり月5,200円に物価高騰分を含んだ額として算出されているので、今後さらなる物価高騰が続く場合、定期的な金額の見直しが検討されていくことと理解している。

(審議会委員)

- ・基本的には、小学生の保護者に対して給食費の保護者負担を求めないという認識でよろしいか。

(事務局)

- ・そのとおりである。国から示された額と保護者負担分がほぼ同額で推移するため、来年度小学校の保護者負担はなく、引き続き食材費として不足する分については、市の財源で補てんすることとしている。

(審議会委員)

- ・昨年スポットクーラーを購入したと思うが、現センターが令和11年度途中まで稼働するうえでまだまだ施設内の暑さは調理員の負担が大きく不十分と感じる。調理員の安全を鑑みて、エアコンの設置を検討してもらいたい。
また、残食について現施設の状況の中で、できる献立が限られていることは十分理解しているが、残食に関する具体的なデータを認識していない。残食となっても食材費自体はかかっているわけなので、少しでも残食が減るような工夫を考えていただきたい。現状では、小学校と中学校で同じ献立を別日に提供しているが、まとめて調理することはできないのか。

(事務局)

- ・当市では、一日に約8,500食の給食を調理しているが、一度にその分の食材を揃えることは困難であり、食材の納入日等も分散されるよう調整しているため、同日小学校と中学校で同じ献立を提供することはできない。
また施設内の暑さについて、スポットクーラーは今年度大型のものを2台購入し、長時間の作業とならないよう一時避難の目的で導入した。さらに調理員個人に対しても、空調機能付き作業服を導入し、熱中症対策をしてきたところである。しかしながら、現施設において構造的に冷房設備を新たに導入することは数億円規模の費用がかかり、新センター稼働前としては判断が難しい状況である。
残食については、現施設で調理できない献立があることも実情ではあるが、献立のみで栄養価も確保しつつ、残食を改善することは理想ではあるが難しい。引き続き献立による改善等は検討していきたい。

(審議会委員)

- ・本校でいうと、野菜の残食が多いように見受けられる。生野菜であればもう少し食べられるような気もするが、現施設で調理できない献立がある以上致し方ないと感じる。
しかしながら、以前に比べて給食がおいしくなったという実感もある。児童生徒や教職員も喜んでおかわりしていたりと、日ごろ改善、工夫している結果だと感じている。引き続き子どもたちのことを考えて改善をしてほしい。

(審議会委員)

- ・児童生徒に対して、給食に関するアンケート等実施はしているのか。

(事務局)

- ・アンケート調査については過去に実施しており、好まれる献立や喫食時間に関すること、食べられない理由等把握はしている。日ごろの残食状況やアンケート結果からも今後の献立の参考としたい。

○報告第1号「新学校給食センター整備運営事業について」について資料に基づき報告。報告済みとなった。

[質疑・感想等]

(審議会委員)

- ・新センターの建設予定地についてはすでに決定しているのか。また、建て替えをする理由は何か。

(事務局)

- ・現センターは流通業務団地内にあるが、新センターにおいても同団地内に建設することとしている。建て替える理由については、老朽化していることや冷房設備の不足、国が定める衛生管理基準に一部満たしていない等があげられ、それらに沿った新たなセンターとする予定である。

(審議会委員)

- ・新センターが稼働となった場合、現センターは何か別の施設として活用されるのか。

(事務局)

- ・現段階ではまだ決定していない。今後庁内において検討委員会等により議論し活用策について決定していくこととなる。

5 その他

○来年度の運営審議会内容について

(事務局)

- ・今年度同様に年2回程度（7月と2月）開催を予定している。7月では前年度実績の報告や2月においては今回同様、来年度事業計画等を予定している。

(審議会委員)

- ・本校において児童の給食の様子を見るが、やはり野菜に対する残食が多いと感じており調理においても加熱し過ぎている印象もある。現施設でできる範囲の中でさらなる改善や工夫を期待する。

6 閉会

以 上